

(3) 住宅の規模

住宅の規模を1住宅当たりの延べ面積という指標でみた場合、本県の住宅規模は着実に拡大を続けているが、全国との比較では依然として格差がある。平成30年の1住宅当たりの延べ面積でみると、全国93.04㎡に対して本県は75.77㎡で17.27㎡の格差があり、借家の比率が高いこともあって大都市圏並みの狭さとなっている。所有関係別では、持家の規模は全国と比べて格差があるが、借家については1住宅当たり延べ面積が全国平均を上回っている。

1 住宅当たりの延べ面積の推移

(単位：㎡)

	平成5年		平成10年		平成15年		平成20年		平成25年		平成30年	
	全国	沖縄	全国	沖縄	全国	沖縄	全国	沖縄	全国	沖縄	全国	沖縄
平均	91.92	74.45	92.43	76.80	94.85	77.39	94.13	75.90	94.42	76.28	93.04	75.77
持家	122.08	97.04	122.74	100.33	123.93	103.41	122.63	103.54	122.32	104.28	119.91	105.34
借家	45.08	45.53	44.49	46.90	46.30	48.17	45.49	47.43	45.95	49.25	46.79	49.31

(注)「住宅・土地統計調査」(総務省統計局)による